



三田ヶ谷公民館だより

令和 7年 4月 1日
発行 三田ヶ谷公民館
TEL 565-0040

草花芽吹く春、三田ヶ谷公民館にご来館ください！

三田ヶ谷公民館は昭和28年（1953）年の開館以来、令和7年（2025）で72年目を迎えました。

昭和28年と言えば、「羽生市」はまだ誕生しておらず、三田ヶ谷村においての設置でした。

これまで、公民館は生涯学習の拠点として、地域の皆様とともに歩んできました。今後も地域の皆様との結びつきを深め、新しい文化を創出する場となるよう、努めていきたいと思えます。

新年度もぜひお気軽に公民館をご利用ください。

側溝清掃と植木の剪定を実施しました！

3月15日（土）、公民館の側溝清掃と植木の剪定を行いました。
新しい季節の到来とともに、公民館敷地内はスッキリ！

ご協力いただきました各自治会長をはじめ、体育振興会の皆様、ありがとうございました。



三田ヶ谷グラウンド・ゴルフ大会 春季大会 令和7年3月1日開催

- ◎優勝 赤坂 賢二 様
- ◎準優勝 関根 春巳 様
- ◎第三位 櫻井 洋 様

健康運動教室:4月9日（水）午前10時～11時30分
はつらつ教室:4月25日（金）午前10時～11時

犬の集合狂犬病予防注射のお知らせ

日時:4月11日（金）午前9時30分～10時15分
問合せ:健康づくり推進課（☎561-1121）



【職員の異動】

（転出）中村 「長い間大変お世話になりました」

（転入）新井 「よろしく願いたします」

4月、5月の休館日

毎週火曜日、4/29（祝）、4/30、5/3～6（祝）

☆裏面もご覧ください☆

「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第11回 三田ヶ谷小学校と「さいづか」)

令和7年(2025)3月をもって、**羽生市立三田ヶ谷小学校**は閉校となりました。

明治6年(1873)の創立以来、151年にわたって地域の教育の中心となり、子どもたちの学び舎として親しまれてきました。

さまざまな学校行事を通して、地域のコミュニケーションを深めてきたことは言うまでもありません。例え卒業生でなくとも、地域に住む一人一人にとって、三田ヶ谷小学校は特別な存在だったのでないでしょうか。

ところで、同校最後の**校舎(鉄筋3階建)**は、昭和53年5月に完成しました。

三田ヶ谷小学校PTA新聞「さいづか」第25号(昭和53年3月23日発行)によると、工事が始まって以来天候に恵まれ、約40名の作業員が日々仕事に励んでいたということです。

同紙第26号では、「夢と希望の新校舎が誕生」と題して、当時の校長・**岩崎武光氏**が寄稿しています。それによると、5月25日・26日の2日間にわたって、4年生以上の児童たちが汗だくになって、軽い備品類を新校舎へ運んだそうです。

同年10月下旬には、岩崎校長は岐阜県高山市にある**国府小学校**へ視察に訪れています。これは、三田ヶ谷小学校の**第2校庭**(第2運動場)を整備するための視察でした。

「さいづか」第27号には「**第二運動場 体育施設配置案**」が掲載されています。国府小学校は、体育研究を通して当時の「文部大臣賞」を受賞していたことから、視察地に選ばれたのでしょう。同校をどれほど参考にしたのかは定かではありませんが、三田ヶ谷地区と岐阜県高山市は、第2校庭を通してつながっていたこととなります。

「さいづか」を読むと、地域をはじめとする関係者たちの尽力があったことがわかります。同紙の「**父兄の声**」には、現在「おじいちゃん」や「おばあちゃん」と呼ばれている方々が、新1年生になった我が子に寄せる想いが綴られています。時を超えても、子を想う親の気持ちは不変であることがわかり、その心が長きにわたって学校を支えてきたのでしょう。

三田ヶ谷小学校が閉校したいま、「さいづか」も地域の歴史を語る貴重な「**史料**」の一つに数えられます。「思い出」はやがて「歴史」となり、その史料的価値は高まっていくでしょう。



左の写真は三田ヶ谷小学校の**第2校庭**です。

“百葉箱”手前の「**日時計**」は、平成2年3月にPTAと卒業生によって寄贈されたものでした。

